

コロナ禍における留学生への影響及び長崎大学の支援の実態

アンケート調査の結果から

The impact of COVID-19 on International Students
and the support provided by Nagasaki University:
a study based on the results of a Questionnaire Survey

ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ

昔 宣希

清田 智子

埴田美有紀

ムトゥ スバシュ カビタ

Nurgaliyeva Lyailya

Suk Sunhee

Tomoko Kiyota

Miyuki Tada

Muthu Subash Kavitha

コロナ禍における留学生への影響及び長崎大学の支援の実態 アンケート調査の結果から

長崎大学 スルガリエヴァ・リヤイリヤ

長崎大学 昔 宣希

長崎大学 清田 智子

長崎大学 埴田美有紀

長崎大学 ムトゥ スバシュ カビタ

The impact of COVID-19 on International Students
and the support provided by Nagasaki University:
a study based on the results of a Questionnaire Survey

Nurgaliyeva Lyailya (Nagasaki University)

Suk Sunhee (Nagasaki University)

Tomoko Kiyota (Nagasaki University)

Miyuki Tada (Nagasaki University)

Muthu Subash Kavitha (Nagasaki University)

Abstract

The spread of COVID-19 has affected the lives of students around the world. For those enrolled at higher education institutions, it has brought major changes in education format, learning methods, research activities, organizational operation, and economic support. This study aims to provide an understanding of the impact of COVID-19 on lives, study, future careers and related factors of Nagasaki University international students, and to suggest improvements in support measures for international students as part of the promotion of globalization at Nagasaki University. This research note mainly describes the outline of the study, the status of COVID-19 infection in Nagasaki Prefecture, and the countermeasures taken by Nagasaki University, a review of literature, and plans for future research activities.

Key Words: International students, Mental health, Nagasaki, Online learning, Pandemic

1. はじめに

大学は、多くの学生が集まり、勉強し、交流する場である。また、世界各国から来た学生が混ざり合う文化の拠点でもある。このユニークな領域にも、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）感染拡大の余波が例外なく影響を与えている。これに対応して、各教育機関は、感染を拡大させかねない大規模学校行事、国際交流活動を全面的に中断し、ウイルスの拡散を抑制するとともに、教育を維持するための新しい教授法や学習方法を模索している。フィールドワークを中心とした国際的な研究活動も同じ期間に制限が多くなされている。さらには、前例のない感染症と、それに伴う変化が長期化する中、教育機関は学生が経験する情緒的、身体的、経済的困難に対応しなければならないという課題にも直面している。

長崎大学でも、2020年3月以降、COVID-19に対応した授業等の準備及び実施に関する取り組みを始め、家計が急変した学生を対象とする救済制度や学費免除及び納入期限の延長などの経済的な支援策を講じた。また、COVID-19の下での教え方と学び方に関する国や文科省からの要請事項に応じながら、長崎大学の方針の下で新たな授業形式も導入した。さらに、感染拡大が学生に及ぼす影響を把握するために、部局ごとに様々な形態のアンケート調査を実施し、対応に取り組んで来た。

一方で、感染拡大を防ぐため国家間の移動が制限され、地域のコミュニティが閉鎖的になっていく中、見落とされがちなのが、母国から離れ他国で生活を余儀なくされている留学生についてである。母国で学ぶ学生と比較しても、留学生はCOVID-19の下で精神的な健康を損ねるような多くの障害に直面している（Chen et al., 2020）。2020年5月時点で、長崎大学には49カ国から来た473人の外国人留学生が在籍している（長崎大学 2020）。上述のとおり、長崎大学では既に全学生を対象としたCOVID-19の影響に関する調査が実施されてきたものの、留学生を対象に絞り、より深く実態を把握した調査研究は行われてこなかった。

長崎大学が今後、さらに国際化を促進していく上で、このように誰も経験したことのない社会現象が留学生に与える影響を把握し、その支援策を考え、さらなる改善案を検討することは有意義であろう。そこで、本研究グループは令和3年度「CHODAI 共創グラント」の支援を受け、「新型コロナウイルス感染症が長崎大学の留学生に与えた影響：アンケート調査を基に」という研究プロジェクトを立ち上げた。本研究の目的は、COVID-19

感染拡大が長崎大学の留学生にどの程度影響を及ぼしたかを明らかにすると共に、長崎大学がグローバル化をさらに促進していく上で、留学生に有益な支援方法などについて提案することである。さらに、「ニューノーマル」や「with コロナ」と呼ばれる時代において、COVID-19流行以前の状態に戻すのではなく、新しく構築されたオンライン学習システムによる質の高い教育の在り方についても考察を試みる。

本研究資料は、「CHODAI 共創グラント」に対する途中経過報告を兼ね、本プロジェクトのこれまでの調査で判明した長崎県の COVID-19感染現状、及び長崎大学の COVID-19対策(第2章)と先行研究のレビュー(第3章)をまとめたものである。先行研究レビューでは、COVID-19の影響に関連する要因の中でも特に長崎大学の特徴として検討しうる変数を導き出すための研究を主に取りあげた。最後の第4章は、今後の調査活動について詳細を述べた。第4章でも述べるとおり、アンケート調査は現在、回答を回収中であり、本研究資料にはその調査結果及び分析は含まれていない。最終結果は別の国際的な媒体で発表することを検討していることから、本稿では研究資料として現状を報告する。

2. 長崎県における COVID-19の感染状況と長崎大学の対応と方針

長崎県では、2020年3月に壱岐市で県内初となる COVID-19の陽性者が確認されて以来、2021年11月までに約6千人の感染者が確認されている(図1)。長崎大学の所在地であり、在籍する留学生のほとんどが居住する長崎市内では、4月15日に最初の感染が確認されたものの、続く5月、6月は感染者がゼロの状態が続いた(長崎県 2021)。なお、長崎市では、三菱重工長崎造船所香焼工場に停泊中のクルーズ船「コスタ・アトランチカ号」

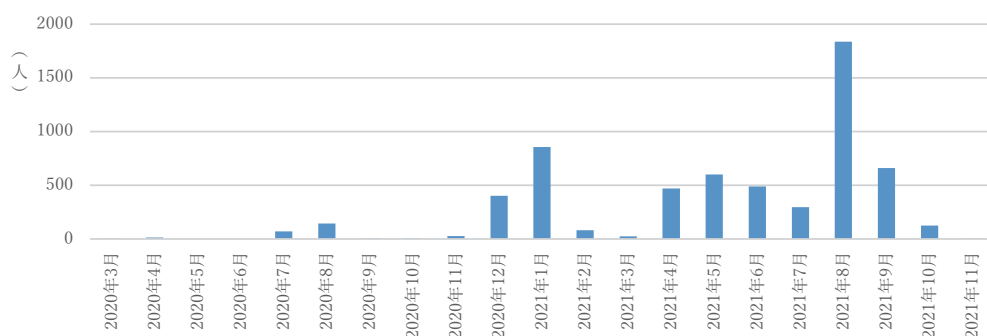


図1：長崎県の COVID-19感染者数：月別
(長崎県「県内発生事例一覧」(令和3年11月20日更新)を基に筆者作成)

内で149人の感染者が出たものの、県や市からの要請を受けた長崎大学の感染症専門医がクルーズ船外への感染拡大を食い止めたことが評価されている。

それでも、全国的な感染拡大を考慮した文科省からの要請もあり、長崎大学では2020年4月の新学期開始から2週間、原則として対面による講義、演習、実験、卒業研究、実習等は実施されることが決定された（長崎大学学生支援部教育支援課 2021a）。この措置は、2週間の経過観察により一部緩和され、教養教育科目の初年次セミナーや、実習や卒業研究が含まれる専門教育等は、【実施の条件】¹を満たした上で、対面でも可能となった（長崎大学学生支援部教育支援課 2021b）。しかし、政府による緊急事態宣言が全国に拡大されたことから、4月21日には再びオンライン講義が義務付けられ、ゴールデンウィークが明けた5月半ばまで継続された。

その後、「国や文科省からの要請事項でもあり、今後避けては通れない with コロナへの第一歩」として、9月16日には、対面講義の【実施の条件】が一部緩和され、ハイブリッド講義が推奨されるようになる（長崎大学学生支援部教育支援課 2020c）。それにより対面での講義や実習も徐々に増加したものの、オンラインによる講義も継続されたことから、学生には混乱が生じた（長崎大学教育開発推進機構大学教育イノベーションセンター 2020）。

また、感染が拡大するにつれ、人の移動や会食の制限も厳しくなっていく。2020年3月半ばには海外から日本に渡航を希望する外国人の入国が制限されるようになり、留学生の入国にも影響が出始める。さらに、国内でも感染が拡大する地域への移動の自粛が要請され、県外から移動してきた際には2週間の自主隔離も求められた。さらに、4月には国や県からの要請に基づき、ホテルや飲食店の営業時間も短縮された。

このような中、親の経済状況の悪化や学生自身のアルバイト代の減少等が懸念されるようになり、文科省、日本学生支援機構、各自治体、大学等は、留学生も含む学生への支援が急務となった。長崎大学でも、文科省の支援や自己財源を活用しつつ、留学生を含む学生全体に向け以下の支援を行った。これらの支援に関する学生への通知はメールや大学

¹ 2020年4月16日の時点での【実施条件】は以下のように定められた。この【実施条件】はその後感染状況が変化するたびに変更された。

- 1) 授業担当教員、指導教員及び受講学生は、本学が指定する「感染防御」に関する教育を予め受講すること。
- 2) 感染予防対策を講じた上で3密（密閉、密集、密接）を避けること。
- 3) 海外及び感染者数が100人を超えている都道府県から長崎に来て2週間経過していること。
- 4) 学生の体調管理を行い、感染症状がないことを健康状態確認シートで確認できること。

HP への掲載によったが、ほとんどの場合日本語であったことから、学生支援課の要請を受けた留学支援課によって英訳され、留学生にメールで周知された。なお、長崎大学では、学部生の多くは日本語が理解できるが、大学院においては日本語が全くできない学生も多い²。以下の節で長崎大学が行った学生支援について述べる。

2.1 学生生活支援金の給付

COVID-19の影響により、学生本人の給与等に収入減があり、経済的に学生生活を維持することが困難な学生に対し、返済を要しない生活支援金（1か月3万円）を給付した。本措置は、文科省が各大学に対し生活に困窮する学生への支援を要請したことを受け講じられたもので、同省が追って実施した「学びの継続のための学生支援緊急給付金」事業開始までの一時的なものであった。従って、給付期間は2020年5月と6月の2か月のみである。長崎大学では西遊基金を財源とした。

給付の条件は、COVID-19の影響により、アルバイト等の収入減額（収入減した月とその直近2か月の平均収入を比較して、5割以上の収入減少）が認められること、かつ、生活費の状況から生活が困窮していると認められる学生を対象としている。日本人を含む長崎大学全体では、学部生1,470名、院生277名、計1,747名の申請があり、採用者は、学部生459名、院生は122名であった。そのうち、留学生は、学部生32名、院生90名の申請に対し、それぞれ14名、43名が採用された。

2.2 生協食費等支援事業

上述2.1の文科省による「学びの継続のための学生支援緊急給付金」を令和2年度に受給した学生のうち、令和3年度も在学している住民税非課税世帯の日本人学生及び留学生に対しては、大学が生協と協力の上、食費や教材費に充てる費用の支援を行った。学生1人あたり、1日500円を3か月分支給した。生協では学生証にお金をチャージして商品を購入できる仕組みがあることから、採用された学生は生協に行き学生証にチャージすることで給付金を受け取った。大学は西遊基金から8,444,800円を負担し、生協は2,111,200

² 長崎大学が留学生に対して実施した経済支援策については、長崎大学 HP「困難な状況におかれている学生等が利用可能な主な制度等」<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/support/free/covid-19/system/index.html#6>（2021年10月26日アクセス）；「長崎大学西遊基金だより Vol.2」<https://www.nukikin.jimu.nagasaki-u.ac.jp/report/file/letter02.pdf>（同アクセス）；留学支援課（2021年10月13日）、学生支援課（同10月26日）に対するヒアリング調査を参考にした。

円を負担した。

2.3 授業料免除及び納付期限延長

長崎大学では例年収入基準や学業成績基準に基づき授業料を半額または全額免除する制度がある。令和2年度及び3年度は、その制度に加え、家計が急変した学生に対する授業料免除の措置も講じられた。

また、授業料の免除を受けられなかった学生に対しても、支払い困難な者には納付期限の猶予が認められた。令和2年度は納付期限延長を申請した107名のうち留学生在が25名、また令和3年度は同申請者118名のうち留学生は33名であった。

2.4 新規入国留学生に対する滞在費等支援

COVID-19の感染拡大を受け、日本入国の際に東京・大阪・福岡で2週間の隔離を余儀なくされる留学生に対し、最大8万円の滞在費を給付した。本措置は、入国する留学生に一律に給付されたもので、西遊基金から総額300万円が拠出された。

2.5 その他

長崎大学による上記の措置に加え、留学支援課では、留学支援センター経由で企業から寄付された支援物資を留学生に支援した。学生支援課も、県立島原農業高校と製麺業の山一が共同開発したスープ付き素麺5000食の寄付を受け、留学生と困窮学生に配布した。

3. 先行研究

長崎大学に限らず、COVID-19感染拡大は世界中で学生の生活全般に影響を及ぼしただけでなく、高等教育機関の教育形式、学習方法、研究活動、組織運営、学生に対する経済支援などの面でも大きな変革をもたらした。その過程で多くの課題も提起され、それぞれの課題に対して学術的アプローチを通じた問題解決を図るべく、研究が多く発表されている。これらは、主に、高等教育機関の学生を対象に、感染拡大による生活パターンの変化や精神的な影響、オンライン授業の学習効果などに着目していた。さらに、技術リテラシー、専攻分野、国籍、性別などの多様な説明変数との相関関係をも明らかにしている。

以下、特に高等教育機関の学生を対象にして、(1) 学生のメンタルヘルスへの影響と

その要因、及び（２）授業形式の変化による学習効果への影響と関連ファクターを分析した研究に焦点をあて、先行研究をレビューする。また、本研究同様に（３）留学生や海外留学に関連する研究結果も以下にまとめた。

3.1 COVID-19による学生のメンタルヘルスへの影響とその要因に関する先行研究

COVID-19の流行は、精神病の発症を含む心理・精神的な健康にも影響するほど、日常生活に大きな変化を引き起こした。生活パターンの極端な変化の一つは、国による要請やロックダウンによって外出が制限され、自宅待機を余儀なくされたこと、また、外出しても他人とのソーシャルディスタンスが求められたことである。多くの研究が、このような状況は学生のメンタルヘルスに様々な影響を及ぼし、学生がストレスや不安を経験していると報告している。有意義な相関要因として、経済的困難、感染状況（Oh et al., 2021a）、人種/民族差別（Oh et al., 2021b）、年齢（Zapata-Ospina et al. 2021）、性格（Wismans et al. 2021）、もともとの身体的健康状態及びワクチンに関する知識の程度（Fan et al., 2021）などが挙げられている。

また、学習条件と授業形式の変化も学生の心理的状況に多大な影響を与えている。複数の研究が、世界中の学生たちが学業遅延の恐れ（Fear of Academic Delay, 以下、FAD）と心理的苦痛を経験したことを指摘している。例えば、バングラデシュでは、60%近くの学生が極度のFADを経験し、深刻なストレスに悩まされていた。また、女性、農村部、低所得者層、FADが最も高い学生は、基準群よりも強いストレスを感じていた（Hossain et al., 2021）。加えて、全面的なオンライン授業に対応するための学習環境（例えば、家族の規模、住宅環境、超高速インターネットアクセス）が、学生の不安に関係する要因の一つであった（Hoque et al., 2021）。

そして、性別によってメンタルヘルスへの影響に差が生じていることを指摘している研究もある（Bilodeau et al. 2021, Zapata-Ospina et al. 2021, Deemah et al., 2020）。これらの研究では、男性よりも女性の方が、COVID-19に起因するうつ病やストレスにより有意性があり、その要因として、職場や家族の中での役割や、ITに対する適応力などに関連があると結論付けている。

学生の専攻や研究分野によるCOVID-19の影響も調査された。これらの研究が対象としたのは、主にCOVID-19の影響を深刻に受けた産業、例えば医療（Dorji et al., 2021, Salem et al., 2021）や航空分野（Miani et al., 2021）である。Miani et al.(2021)は、航空分野を

専攻する学生の航空業界に対する見通しと COVID-19後に必要な技術習得へのプレッシャーを調査した。また、Hasanpour et al.(2021) と Sveinsdóttir et al., (2021) は、看護学生の不安症状、ストレス、バーンアウト経験について報告した。

一方、このような学生の心理的な影響に対して高等教育機関が講じた対策は、メンタルヘルスに問題を抱える学生を支援するのに十分ではないとの指摘もある (Van de Velde et al., 2021)。Kamaludin (2020) は、大学生のどのような心理が COVID-19への対処に影響しているのか考察した。この研究によると、社会的支援を求めることができることや、問題に対する受容的な対処戦略ができることといった社会的要素が学生の不安レベルと有意に関連していることがわかった。

3.2 COVID-19下での授業形式の変化による学習効果への影響と関連要因

オンライン授業形式は、教育ツールの一つとして、COVID-19以前から教育部門で一部導入されてきていた。一般的には、IT 技術を活用することにより学生の生産性と創造性を高め、学習意欲の向上を促進すると評価されていた (Lowther, et al. 2008)。しかし、COVID-19の感染拡大により、遠隔教育が求められ、オンライン・システムを用いた授業形式が全面的に用いられる状況となった。このような展開により、オンライン教育が学生同士の接触を減らし、感染症のリスクを抑えると期待された。一方で、教育効果の保証について多くの研究がなされ、主に、授業形式の転換による技術、時間管理、生活と教育のバランス、集中力維持の面で課題があることが指摘された (Fatoni et al., 2020, Maqableh and Alia, 2021)。また、講師とのコミュニケーション、グループワーク、クラスメートとの対話、授業参加など面で、オンライン授業には限界があることが確認された (Mali and Lim, 2021)。一方、Shirish et al (2021) は、学生のマインドフルネス (筆者注：IT 機器に対する適応力) に応じて IT ベースの学習の生産性と創造性に差異が生じることを示した。

このような限界があるにもかかわらず、オンライン形式の授業は、COVID-19の感染拡大という環境では、肯定的に作用するとの見方もある。例えば、中国で学ぶガーナ人留学生は、新しい学習方法としてオンライン学習に満足していた (Demuyakor 2020)。オンライン学習の特徴として、自宅で聴講可能であり、場所や時間に縛られないのは利点である (Fatoni et al., 2020)。また、インドネシアのパジャジャラン大学の国際ビジネス学科の学生も同様に、学習者が自分の学習順序やペースを選択できることから、eラーニングの

導入に満足感を示していた (Krishnapatria 2020)。これは、学生だけでなく、講師にとっても同じことが言える。講師は、学生との質の高い対話や、テクニカルサポートを利用して、学生のニーズに合わせて授業を変更することが容易であると指摘されている (Nambiar 2020)。

他方、多くの学生は、eラーニングによって学習者が好きなときに最新のコンテンツにアクセスできるようになったとはいえ、依然として対面式の伝統的な学習方法を好むことが分かった (Radha et al., 2020)。従って、COVID-19後の授業形式は、オンライン授業の長所を生かし、その限界を補うとともに、既存の授業方式と上手く組み合わせることでその相乗効果を高めていくことが求められる。

大学生の多くは、新しい学習方法に適応するための困難や苦勞に直面し、それが精神病発症を含むメンタルヘルスの問題につながったにもかかわらず、感染拡大の間も個人的な目標を達成することに集中しようと懸命に努力している。インドネシアのジャカルタにある国立大学の調査では、COVID-19感染拡大の間、学生たちが学習を続ける動機として、新しいことを学びたいという好奇心、責任を持って課題を実行するという決意、神様からの報いを信じるという宗教的コミットメントを挙げている。また、友人や両親・家族からの社会的支援や刺激も、彼らの動機を維持する要因となっていた。この研究は、学生が、内発的にも外発的にも意欲を持って勉強に取り組み、自分の中で解決策を見つけられることを示している (Rahiem 2021)。

3.3 COVID-19 における留学生、海外留学などへの影響に関連する研究

COVID-19感染拡大の下で、各国政府による国境封鎖や大学によるキャンパスの閉鎖により、多くの学生が留学計画を変更または中止した。一部の研究者は、COVID-19感染拡大が高等教育の国際化に終止符を打つのではないかと述べている (Heisel, 2020; Helms, 2020; Leask & Green, 2020)。Mok et al., (2021)、Xiong et al., (2021) は、中国の学生に対して、COVID-19危機における海外留学計画をどのように考えているか調査し、感染拡大は留学生の移動志向を大幅に低下させただけでなく、留学生の移動の方向も変化させたことを明らかにしている。さらに、中国人学生の留学先としてアジアの地域と国、特に香港、日本、台湾が、米国と英国を抜いてトップ5であることも明らかとなった。これは、米国、英国、オーストラリアなどの高等教育機関が今後の留学生の減少を見込んでいる OECD (2020) の分析を裏付けている。COVID-19感染拡大の下で健康と安全が強く意識され

たことで、近隣の国や同じ地域が留学先として人気になったと考えられる。

ベルギーで実施された留学生の福利厚生に関する研究によると、COVID-19発生時に生活環境や経済状況が変化し、学業の負担が増えたことで、ほとんどの学生が強い不安と多くのストレスを感じていた (Van de Velde et al., 2021)。日本に住むベトナム人留学生のCOVID-19の影響に関する調査によると、彼らの多くがアルバイト減収に伴う生活不安、就活に対する不安、学費納入の不安などを抱えており、経済的支援、例えば、生活費の援助や奨学金の拡大を求める声が多数挙がった。また、「困ったことがあった場合、誰に相談するか」という問に対し、「相談する人が誰もいない」が三番目に多かった (13%) のは注目に値する (公益財団法人ベトナム協会, 2021)。

また、村田 (2021) は、孤立する留学生のオンライン学習支援とソーシャルサポートを目的として、2020年度春学期と秋学期に日本人学生のボランティアを募り、留学生の会話やディスカッションのクラスを実施した。その過程で、①やさしい日本語・英語を用いた来日の見守りと情報提供、②母語でのメンタルサポート、③留学生と社会をつなぐサポート、④進学サポート、⑤就活サポートという5つの面でボランティアによるソーシャルサポートがあったことが確認された。そして、こうした実践が非常時に外国人支援を考える際に役に立つのではないかと指摘している。

なお、2021年1月から3月にかけて、NPO Treasures of The Planet 2021が長崎大学のボランティアと協力し、長崎県やその周辺に住む外国人を対象にアンケート調査を実施した。この調査は長崎大学の留学生だけを対象としたものではないが、アンケートに回答した353人中205人が「学生」と回答している。同アンケート調査では、36.5%が学業や仕事に問題を抱えていることが判明した一方で、メンタルヘルスに関しては大多数がCOVID-19感染拡大以前と「変わらない」という結果も出ており注目される。以下にみるように、本研究プロジェクトでは、同アンケート調査の結果も参考にしつつ、留学生の生活や精神面についてさらに細かい分析ができるよう構築した。

4. 今後の調査と調査後のコンポーネントについて

本研究の手法と流れを図2に示す。研究コンポーネント1 (関連政策及び文献調査) は、本研究資料で述べた。今後は研究コンポーネント2～4を行うことを計画している。詳細は以下の通りである。

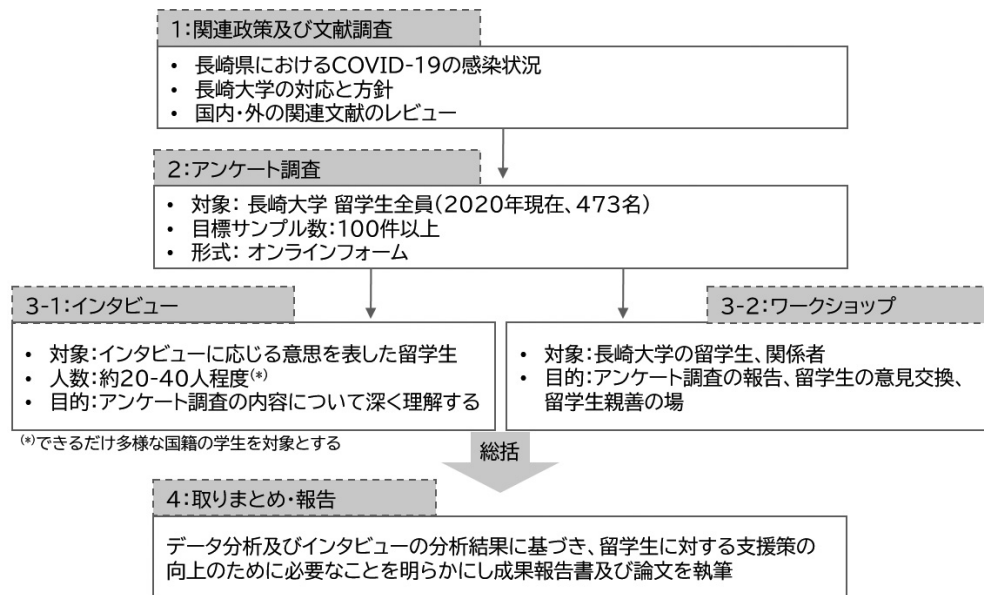


図2：研究手法及び流れ

4.1 コンポーネント2：アンケート調査

先行研究を踏まえ、本プロジェクトでは長崎大学の留学生全員を対象にアンケート調査を実施する。実施期間は12月10日から20日までの10日間で、状況に応じて延長する。調査にはオンラインのアンケートフォームを活用し、留学支援課に依頼し、留学生に一斉メールでリンクを送付した。このアンケート調査は、特に留学生の生活面、心理・精神面、学習・研究面、就職活動・将来のキャリアへの影響を調べることを目的としている。従って、アンケート質問票も、「生活パターンの変化」、「心理的・精神的健康状態」、「学習効果」、「就職に及ぼす影響」、「長崎大学の支援の評価」に関する49の質問で構成した。さらに、本研究で事前に想定した説明変数、被説明変数（図3）のデータを収集できるように設計した。

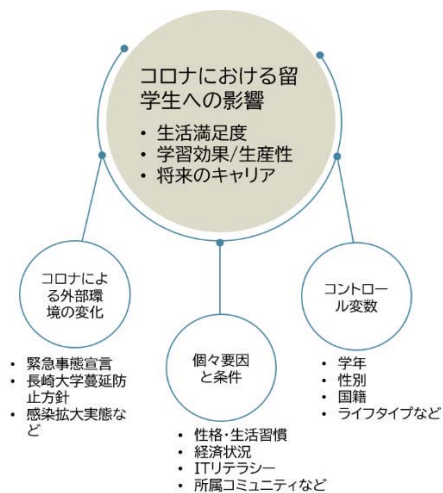


図3：分析フレームワーク

4.2 コンポーネント3：インタビュー及びワークショップ

上記のアンケート調査では、最後の質問として今後インタビュー調査への協力について尋ねている。インタビュー調査に協力すると答えた学生を対象に、12月から1月にかけて個別インタビューを実施する。個々のインタビューを通じて、アンケートの調査結果についての理解を深めることを目的とし、アンケート調査では詳しく聞くことが出来なかった追加の質問を行う。インタビュー対象数は20-40人を想定している。

また、2022年2月には、留学生を対象としたワークショップを開催する。このワークショップには学内関係者及び日本人学生にも参加を募るが、参加人数は、開催時点でのCOVID-19の感染状況により許容される範囲とする。このワークショップではアンケート調査結果を報告するとともに、留学生の間で経験や意見の共有を図り、大学の支援策に関する提案を行うためのグループワークを実施する。さらに、このワークショップが留学生や日本人学生のネットワーク構築のための場としても活用できるようにプログラムを計画する。

4.3 コンポーネント4：取りまとめ・報告

アンケート調査のデータ分析、インタビュー調査及びワークショップから得られた知見を基に、COVID-19における留学生への影響を明らかにし、大学のさらなる国際化に向けた提言を行う。その内容は、学術研究支援室主催の「CHODAI 共創交流会」で発表する。さらに、本報告書を論文としてもまとめ、国際ジャーナルに投稿する予定である。

参考文献

- Bilodeau, J., Quesnel-Vallée, A., Beauregard, N., Brault, M-C (2021). Gender, work-family conflict and depressive symptoms during the COVID-19 pandemic among Quebec graduate students, *Preventive Medicine Reports*, Volume 24 (<https://doi.org/10.1016/j.pmedr.2021.101568>.)
- Chen, J.H., Li, Y., Wu, A.M.S., Tong, K.K., (2020). The overlooked minority: Mental health of International students worldwide under the COVID-19 pandemic and beyond, *Asian Journal of Psychiatry*, Volume 54, (<https://doi.org/10.1016/j.ajp.2020.102333>.)
- Deemah, A., Aljhani, S., AlEesa, D.,(2020). Perceived stress among students in virtual classrooms during the COVID-19 outbreak in KSA. *Journal of Taibah University Medical Sciences*, 15 (5), pp.398-403.
- Demuyakor, J. (2020). Coronavirus (COVID-19) and Online Learning in Higher Institutions of Education: A Survey of the Perceptions of Ghanaian International Students in China. *Online Journal of Communication and Media Technologies*, 10 (3). <https://doi.org/10.29333/ojcm/8286>
- Dorji, T., Tamang, S.T., Tilak, T.V.S.V.G.K., (2021). Self-learning on COVID-19 among medical students in Bhutan: A cross-sectional study, *Heliyon*, Volume 7, Issue 7, (<https://doi.org/10.1016/j.heliyon.2021.e07533>.)

- Fan, C.W., Drumheller, K., Chen, I-H., Huang, H-H., (2021). College students' sleep difficulty during COVID-19 and correlated stressors: A large-scale cross-sectional survey study, *Sleep Epidemiology*, Volume 1 (<https://doi.org/10.1016/j.sleepe.2021.100004>)
- Fatoni, Arifiati, N., Nurkhayati E., Nurdiawati E., Fidziah, Pamungkas G., Adha, S., Irawan, Purwanto, A., Julyanto, O., Azizi, E., (2020). University Students Online Learning System During COVID-19 Pandemic: Advantages, Constraints and Solutions. *Sys Rev Pharm*, Vol.11, Issue 7, pp.570-576.
- Hasanpour, M., Maroufizadeh, S., Mousavi, H., Noughani, F., Afshari, M., (2021). Prevalence of Generalized Anxiety Disorder among Nursing Students in Iran during the COVID-19 Pandemic: A Web-Based Cross-Sectional Study, *International Journal of Africa Nursing Sciences* (<https://doi.org/10.1016/j.ijans.2021.100360>)
- Heisel, M. (2020). COVID-19: The end of or revival of international higher education. Berkeley News, 7 May 2020. <https://news.berkeley.edu/2020/05/07/COVID-19-theend-or-revival-of-international-higher-education/>. Helms, R. M. (2020). Can internationalization survive coronavirus? You need to see my data. Higher Education Today, 4 March 2020. <https://www.higheredtoday.org/2020/03/04/can-internationalization-survivecoronavirus-need-see-data/>.
- Helms, R. M. (2020). Can internationalization survive coronavirus? You need to see my data. Higher Education Today, 4 March 2020. <https://www.higheredtoday.org/2020/03/04/can-internationalization-survivecoronavirus-need-see-data/>.
- Hoque, M.N., Hannan, A., Imran, S., Alam, M.A., Matubber, B., Saha, S.M., (2021). Anxiety and Its Determinants among Undergraduate Students during E-learning in Bangladesh Amid COVID-19, *Journal of Affective Disorders Reports*, Volume 6 (<https://doi.org/10.1016/j.jadr.2021.100241>.)
- Hossain, J., Ahmmmed, F., Rahman, A., Sanam, Sh., Emran, T., Mitra, S., (2021). Impact of online education on fear of academic delay and psychological distress among university students following one year of COVID-19 outbreak in Bangladesh. *Heliyon*, Vol.7, Issue 6.
- Kamaludin, K., Chinna, K., Sundarasan, S., Khoshaim, H.B., Nurunnabi, M., Baloch, G. M., Sukayt, A., Hosain, S.F.A., (2020). Coping with COVID-19 and movement control order (MCO): experiences of university students in Malaysia, *Heliyon*, Volume 6, Issue 11 (<https://doi.org/10.1016/j.heliyon.2020.05339>)
- Krishnapatria, K., (2020). From 'lockdown' to letdown: Students' perception of e-learning amid the COVID-19 outbreak. *ELT in Focus*, 3 (1), pp.1-8. (doi: 10.35706/eltinf.v3i1.3694)
- Leask, B., & Green, W. (2020). Is the pandemic a watershed for internationalization. University World News, 2 May 2020. <https://www.universityworldnews.com/post.php?story=20200501141641136>.
- Lowther, D. L., Inan, F. A., Strahl, J. D. and Ross, S. M., 2008. Does technology integration work when key barriers are removed?. *Educational Media International*, vol.45, pp.195-213.
- Mali, D., and Lim, H., (2021). How do students perceive face-to-face/blended learning as a result of the COVID-19 pandemic?. *The International Journal of Management Education*, Volume 19, Issue 3, (<https://doi.org/10.1016/j.ijme.2021.100552>.)
- Maqableh, M., and Alia, M., (2021). Evaluation online learning of undergraduate students under lockdown amidst COVID-19 Pandemic: The online learning experience and students' satisfaction. *Children and Youth Services Review*, Volume 128 (<https://doi.org/10.1016/j.childyouth.2021.106160>.)
- Miani, P., Kille, T., Lee, S-Y., Zhang, Y., Bates, P.R., (2021). The impact of the COVID-19 pandemic on current tertiary aviation education and future careers: Students' perspective, *Journal of Air Transport Management*, Volume 94 (<https://doi.org/10.1016/j.jairtraman.2021.102081>.)
- Mok, K.H., Xiong, W., Ke, G., Cheung, J.O.W., (2021). Impact of COVID-19 pandemic on international higher education and student mobility: Student perspectives from mainland China and Hong Kong, *International Journal of Educational Research*, Volume 105, (<https://doi.org/10.1016/j.ijer.2020.101718>.)
- Nambiar, D., (2020). The impact of online learning during COVID-19: students' and teachers' perspective.

- The International Journal of Indian Psychology*, Vol.8, Issue 2. (doi: 10.25215/0802.094)
- NPO Treasures of The Planet 2021 in Collaboration with Nagasaki University Volunteer Group for Foreign Residents Support under the COVID-19 Pandemic, (2021). *Problem and Anxieties of non-Japanese Residents in Japan during the COVID-19 Pandemic: A Cross-sectional Survey*. (https://universalaid.jp/wp-content/uploads/2021/05/COVID-19_Nagasaki_Foreigner_Survey_Result_V051521.pdf)
- OECD (2020) THE IMPACT OF COVID-19 ON EDUCATION - INSIGHTS FROM EDUCATION AT A GLANCE 2020
- Oh, H., Goehring, J., Rajkumar, R., Besecker, M., Zhou, S., DeVlyder, J.E., (2021). COVID-19 dimensions and psychotic experiences among US college students: Findings from the Healthy Mind Study 2020, *Schizophrenia Research*, Volume 237 Pages 148-152 (<https://doi.org/10.1016/j.schres.2021.09.003>)
- Oh, H., Marinovich, C., Rajkumar, R., Besecker, M., Zhou, S., Jacob, L., Koyanagi, A., Smith, L., (2021). COVID-19 dimensions are related to depression and anxiety among US college students: Findings from the Healthy Minds Survey 2020, *Journal of Affective Disorders*, Volume 292, Pages 270-275 (<https://doi.org/10.1016/j.jad.2021.05.121>)
- Radha, R., Mahalakshmi, K., Sathish Kumar, V., Saravanakumar, A., (2020). E-Learning during Lockdown of COVID-19 Pandemic: A Global Perspective. *International Journal of Control and Automation* Vol. 13, No. 4, pp. 1088-1099.
- Rahiem, M., (2021). Remaining motivated despite the limitations: University students' learning propensity during the COVID-19 pandemic. *Children and Youth Services Review*, Vol. 120. (<https://doi.org/10.1016/j.chilyouth.2020.105802>)
- Salem, M.R., Al Hanafy, S.H., Bayad, A.T., Abdel-aziz, S.B., Shaheen, D., Amin, T.T., (2021). Assessment of knowledge, attitudes, and precautionary actions against COVID-19 among medical students in Egypt, *Journal of Infection and Public Health*, (<https://doi.org/10.1016/j.jiph.2021.07.022>)
- Shirish, A., Chandra, S., Srivastava, S.C., (2021). Switching to online learning during COVID-19: Theorizing the role of IT mindfulness and techno eustress for facilitating productivity and creativity in student learning. *International Journal of Information Management*, Volume 61, (<https://doi.org/10.1016/j.ijinfomgt.2021.102394>)
- Sveinsdóttir, H., Flygenring, B.G., Svavarsdóttir, M.H., Thorsteinsson, H.S., Kristófersson, G.K., Bernharðsdóttir, J., Svavarsdóttir, E.K., (2021). Predictors of university nursing students burnout at the time of the COVID-19 pandemic: A cross-sectional study, *Nurse Education Today*, Volume 106, (<https://doi.org/10.1016/j.nedt.2021.105070>)
- Van de Velde, S., Buffel, V., Bracke, P., Van Hal, G., Somogyi, N., Willems, B., Wouters, E., (2021). The COVID-19 International Student Well-being Study. *Scandinavian Journal of Public Health*, Vol. 49, pp. 114-122. (<https://doi.org/10.1177/1403494820981186>)
- Xiong W., Mok, K.H., Ke, G. & Cheung, J.O.W., (2020), Impact of COVID-19 Pandemic on International Higher Education and Student Mobility: Student Perspectives from Mainland China and Hong Kong, Working paper No. 54. September 2020
- Zapata-Ospina, J.P., Patiño-Lugo, D.F., Vélez, C.M., Campos-Ortiz, S., Madrid-Martínez, P., Pemberthy-Quintero, S., Pérez-Gutiérrez, A.M., Ramírez-Pérez, P.A., Vélez-Marín, V.M., (2021). Mental health interventions for college and university students during the COVID-19 pandemic: A critical synthesis of the literature, *Revista Colombiana de Psiquiatría* (English ed.), Volume 50, Issue 3, (<https://doi.org/10.1016/j.rcpeng.2021.04.001>)
- 公益財団法人ベトナム協会 (2021) 「<コロナ禍>ベトナム人留学生の生活実態調査報告書」
<http://www.javn.or.jp/vetovamuseikatu.pdf> (2021年9月6日閲覧)。
- 村田晶子 (2021) 「孤立化する留学生のオンライン学習支援とソーシャルサポートーコロナ禍でのボランティア学生の取り組みー」『多文化社会と言語教育』Vol.1 14-29。
- 長崎県 (2021) 「県内発生事例一覧 (令和3年11月20日更新)」

https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/corona_nagasaki/corona_nagasaki_shousai/。

長崎大学（2020）『2020年度国立大学法人長崎大学概要』2020年7月、34頁。

長崎大学学生支援部教育支援課（2021a）「新型コロナウイルス感染症に対応した令和2年度授業等の実施について（通知）」2020年4月10日。

長崎大学学生支援部教育支援課（2021b）「令和2年度授業実施のあり方について（通知）」2020年4月16日。

長崎大学学生支援部教育支援課（2021c）「令和2年度授業実施のあり方について（通知）【第13報】」2020年9月16日。

長崎大学教育開発推進機構大学教育イノベーションセンター（2020）「コロナ禍における授業履修状況調査（第1回）」<https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/education/online-class/>

長崎大学西遊記金（2021）「長崎大学西遊記金だより Vol. 2」https://www.nukikin.jimu.nagasaki-u.ac.jp/report/file/letter_02.pdf（2021年10月26日閲覧）。

長崎大学ホームページ（2021）「困難な状況におかれている学生等が利用可能な主な制度等」<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/support/free/COVID-19/system/index.html#6>（2021年10月26日閲覧）。